

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 愛知県西尾市立西尾小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒445-0864
愛知県西尾市錦城町162番地1

E-mail intraji@nishio.ed.jp
Website http://www.nishio.ed.jp/nishio-sho/index.html

幼児児童生徒数 男子 373 名 女子 362 名 合計 735 名
幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は「ふるさとを愛し、よさを語りたくなる子の育成」をテーマとして、研究・実践を進めている。これは、本校が長年にわたり取り組んできた「町学習」が、ESDの理念と合致しているからである。教育の不易は「ふるさとを愛する子ども」そして「人・もの・こととの関わりの中で自らを成長させる子ども」の育成であると考えている。私たちは、6年間をかけて、地域を学び、地域で学び、地域に愛着をもてる子どもを育てたいと願う。

具体的には、①地域文化②環境③防災を柱に授業を展開している。

① 地域文化に関わる町学習 (5年生)

子どもが、地域文化の象徴である西尾城下の祭りの伝統にふれ、学び、次世代へ継ぐ気持ちが育むことを目標に、祇園祭を対象に実践を行う。子どもは、これまで祭りを引き継いできた先達の思いを目の当たりにし、お客の立場からもてなす立場へと視点を広げる。

② 環境に関わる町学習 (4年生)

子どもが、ふるさとの川の環境保全に努め、校内にあるビオトープで自然を愛する気持ちを育むことを目標に、校区内を流れる二つの川とビオトープを対象に

実践を行う。子どもは、思いがけない量のゴミや、それらを取り除いた後に見られる多様な生き物にふれ、かけがえのない環境について熟考する。

③ 防災に関わる町学習（6年生）

子どもが、災害発生時に地域で果たすべき役割について学び、主体的に実践しようとする気持ちを育むために、地区の防災を対象に実践を行う。子どもは、自助・共助・公助それぞれの立場があることを知り、また自分たちの手で自分たちの地区を守ろうという熱い思いを知り、次代を担う自覚を芽生えさせる。



① 祇園祭オープニングを飾る手踊り



② 大量のゴミと多様な生き物



③ AEDと心肺蘇生

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

校区内や市役所の方々からの聞き取りが中心。

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

全ての町学習は、総合的な学習の時間を使って行う。3～6年生の町学習は年間指導計画に位置づけられ、子どもの実態に応じて具体的な単元構想を各担任が行う。

2年前に町学習を中心とした研究発表を行った。外部講師を招き指導を受け、また広く公開をしたことで、認められたり、改善点を指摘されたりした。

年度末には毎年まとめの研究紀要を発行している。紀要作成にあたって学年や校内の先生で次年度に向けての振り返りをしている。また、管理職からの指導のもと、実践及び改善を行っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

町学習の実施や振り返り、改善は学年で毎年検討する。その上で、研究推進委員会で検討し、総務部の指導を受ける。授業構想については、毎年改善できるよう、授業研究会を開き、指導案検討や協議会を設けている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

本年度は、内部としては、特に大きな評価を受ける場はなかった。外部としては、10月に平成29年度愛知県ユネスコスクール交流会への参加、愛知県で発行される「ユネスコスクール活動事例集（第5集）」への寄稿、また年間を通して公民館とユネスコスクールとの連携によるESD推進事業へ参加させていただいた。おおむね公開に際しては、実践をお認めいただいている。課題としては、本年度の外部の場が継続的なものではないこと、そして内部の評価の体制を整えることが挙げられる。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

④で述べた交流会及び公民館連携事業において、(1)活動の概要で述べた本校の町学習のあり方と、三つの実践について説明した。パワーポイントを使ったプレゼンを行い、相手によりよく伝えるための工夫などを子どもは学んだ。これは、集会での委員会活動報告など学校生活にも活かされた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

前述したように、本年度は隣接する公民館（西尾市中央ふれあいセンター）との連携事業も行った。3月に行われた公民館祭りにおいて、4年生の環境に関わる掲示、そして西尾小学校のユネスコに関わる学習の発表を行った。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

10月に行われた平成29年度愛知県ユネスコスクール交流会へ参加したことで、西尾小学校の取組を広く発信し、また愛知県の幼小中高それぞれの取組を知る機会となった。あいにくの嵐であったため、参加者が限られ手いたことが残念であった。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項2-5に対応

本年度は、前述した三つの大きな機会を得ることによって、西尾小学校の実践を広く発信すること、子どものプレゼン力を高めたこと、他園・他校の実践を広く知る機会を得た。これらは、子どもの更なるモチベーションとなった。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

30年度は、ユネスコとは直接関わっていない研究発表を行う。よって、新たな取組というより、これまでの「地域文化」「環境」「防災」に関する実践をよりよくするべく粛々と改善を図る。可能であれば、愛知県ユネスコスクール交流会や公民館との連携事業も継続していただくことで、大きな舞台を踏ませたい。